

飲食店元気塾

“食”を通じて門真を自慢のまちにする

－あなたが思う“門真の自慢”は何ですか？－

それを突き詰めて間もなく10年。

かつて市内の大多数が水田に覆われた、あの景色がいつまでも忘れられない。

一方で京阪電車から眺める下町情緒あふれる住宅の数々とその中でどんな物語が宿るのだろうと思い馳せる。

様々な思いが交錯する地元・門真において、“食”をテーマに門真自慢を創造し、発信し続ける団体こそ、「飲食店元気塾」。

「メイド・イン・門真で自慢づくり」を合言葉に、門真を代表する地域農産物である「門真れんこん」を使用したれんこん焼酎「蓮の宴」を皮切りに、門真で山田錦を栽培し農元・農家と協力し造り上げた日本酒の「かどま酒」、そして「手羽ねんこん」に代表される門真れんこんを素材とした逸品づくり、地場産品を用いた料理の提供など、門真グルメをとことん発信してきた。

飲食店にとどまらず、農家・農元・市民、時には行政をも巻き込んで、門真の自慢発信に取り組み続ける。

門真の自慢が1つでも伝わるようにと、飲食店元気塾の各店が、腕に上りをかけて生み出す自慢が結集した料理を、門真産のお酒とともに味わっていただく今回限りの特別企画。

幻の平成31年、あなたの地元・門真の自慢を見つけませんか？

